

# てらこや便利 わあい♪ 2023.1.11 No. 83

冬休み、年明け初めててらこやに足を運ぶ。久しぶり♪最初に見るのは花壇だ。チューリップの芽、やった！増えてる。12月はほとんど出てなくて、ドキドキだった。「やっぱり土を変えてもダメなのかなあ。おひさまの光の問題かなあ。うん、でも大丈夫だよ。」と自分にずっと言い聞かせてきた。よかった！それが出てきてる！季節を感じて、それぞれのスピードで芽生えてきてる。この冬休み、「見えないものを感じる、見えないものを見つめる」という気づきをいただいていた。そして最後にこのチューリップ…。今のわたしは見えないものを大切にしたい。見えないものを見つめ、信頼して、待とう。みんなのひかりを見つめよう。みんなおかえり！3学期はじまるよ♪

日	月	火	水	木	金	土
 1月 	2	3	4	5	6 亜煌 12歳♪	7
8	9 成人の日	10 3学期スタート	11 ○	12 ○	13 亜煌の誕生日会	14
15	16	17 書き初め	18	19	20	21 百人一首大会
22	23	24 (( てらこやカフェ,	25 おひさまタイム)	26 メールでお知らせ)	27 しますね。))	28
29	30	31	雪山探検の詳細について、お便りを配付しました。 1泊2日、1月下旬～2月上旬のどこかで実施予定			

○ こどもたちがお昼ごはんを考える日(緑色の日) 25日(プランや天候によって変更の可能性あります。) \* 青字・・・誕生日♪

## キッチンスタッフ 里香さん's essay ♪

宙が2歳の時におうちえんが始まり、小学校3年生になる時にてらこやが始まった。他の子ども達と違って、宙は自分の家が自分の幼稚園や学校であり、自分の両親がいつもそこで自分の様子を見ている、という特殊な環境で8年間を過ごしてきたことになる。4人きょうだいの末っ子というワガママで大胆な性格や、自分の家のことだからなんでもわかっているんだというというような大きな態度で(リアルジャイアンと呼ばれていた)、スタッフや友達に迷惑をかけたこともよくあったと思うが、よっこやまあみんを中心とするスタッフの皆さんに導かれて、今は自分をしっかりと持ちながら、周りも見ることができ、ユーモアを持ったユニークな少年になったと思う。

公立中学校入学当初は、勉強や知らないシステムに戸惑ったこともあったようだが、いつも自分で考えて対処していた。例えば、中学校に入ってすぐに、クラスで係や委員会を決める時、それになったらどんなことをするのか全くわからない、でもその頃は、黒板の字を写すのがやっと、というか間に合わずに、書き終える前に先生が消してしまう、という状態だったので、「何かを書いたりする委員は無理そうだから、おそらくそれが少ないんじゃないかと思われる体育委員というものに立候補した」と言っていたことを思い出す。体育委員だと字を書かなくていいのか、たぶんそれは間違えているが、やりたくないと思えば逃げればなくて、できそうなことを自分で考えたということに私は、すごいねと言った。そして2年生の12月、先輩の学年から宙達の学年に生徒会執行部が移行するとき、宙は体育委員長に指名されることになった。それから1年間、学校での身体作りやスポーツイベントを、リーダーとしてとりしきってきた。とても忙しそうだったが、今までの体育委員長がやっていない何か新しいことをやってみたくて、いろんなアイデアを出して、充実した時間を過ごしていたようだ。

勉強に関しては、中学生になってほぼ初めて勉強というものをやってみた、という状態。だからはじめの頃は「何かを知って楽しいね！勉強って面白いね！」とよく言っていた(途中やはりスランプはあったが)。英語に関しては、入学した頃はアルファベットがようやく書けるか書けないか程度だったのに、今は学年でも数人しか合格していない英検準2級(高校中級程度)も取得している。

もう一つ宙が中学校でハマったことは、部活として始めたテニスだ。テニスを通じて、運動能力やテニスのテクニックが高まったということもあるが、私としては、チームの中での自分の立ち位置を考えて行動したり、ペアとの関係性を良くするためにいろいろ悩んだりしたことが、宙を精神的にも成長させてくれたと思っている。

この春、中学校を卒業して、宙は三重県の愛農高校というところに進学することが決まっている。せりちゃんの母校ということで、知っている人もいるかと思う。全寮制の農業高校で、3年間スマホは禁止、朝も5時に起きて動物の世話をするなど、かなり独特な学校だと思うが、体験入学に行って、とても感銘を受けたらしい。前例がないということ、その後の進路が不明ということなどから、中学校の先生方は心配してくれて、校長室にまで呼ばれて個人面談したらしいが、「今ワクワクすること、したいんです！」と言い切ったという宙のことを誇りに思う(遠く離れることは寂しいという気持ちもあるが)。

子ども達の学び方の選択肢は増えてきている。世の中がこれほど複雑になってきているのだから、子ども達だけ今までと同じように学べというのは到底無理だ。もっともいろいろな場所で形で学べるようになっていくべきだ。しかし宙の場合、地元の公立中学校に3年間通ったことは、とてもよかったと思っている。新しい世界が広がった。例えば、音楽のテストのためにピアノでLet it beを弾いて歌えるようになったり、美術で読書感想画やポスターを描いて賞をもらったり。宙にそんな芸術的センスがあるとは、またこんなに真摯に努力する人だとは、私は(おそらく本人も)全く知らなかった。そしてそのような普通の中学校生活を体験したからこそ、次のステップとして、宙は愛農高校のような場所を選んだのだと思う。

いつもは素直にほめない私だが、あらためて思い返すと、中学校では宙はよく頑張ってきたと思う。100点満点をつけてあげたい。そしてこれから出されるであろう人生の課題については、その解答用紙に、色とりどりのペンでたくさん面白い答えを書いていってほしい。採点基準は本人の言った通り、「ワクワクしているか」でいいと思う。